

サンプル

平成 29 年 12 月 23 日

宛先はリストを
参考に変える

〒100-8981

東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 1116 号室

犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟動物愛護法改正ワーキングチーム

座長 衆議院議員 牧原秀樹様

差出人名は本名で、
できれば住所も。

〒000-0000

住所〇〇〇〇〇〇〇

名前〇〇〇〇

タイトルと要望内容を書きます。感情的にならずに、簡潔がよいです。

件名：動物愛護法、厳罰化のお願い

日頃は私たち国民のためにお仕事をして下さり、誠にありがとうございます。

掲題の件につきまして、お願いがあります。下記お読みください。

人と動物の共生が推進されていますが、「動物虐待、拷問、虐待致死、拷問致死」は増加しています。その手口は巧妙に、方法は残忍で凄惨なものへとますます酷くなっています。そして犯罪者を検挙しても、動物愛護法の罰則が軽いため、不起訴や略式起訴、刑がついても執行猶予になり、断罪されることなく、常軌を逸した凄惨な行為を平気でする人間たちを野放しにしています。

この事が、動物虐待者に対し全く抑止にならず、予防効果もなく、再び新たな動物虐待、拷問、虐待致死、拷問致死を発生させ続けています。「ここまで酷いことをしても実刑にならず執行猶予で済む」と動物虐待者は高を括るでしょう。私たち国民や愛護動物たちは安心して暮らすことができません。

現在の動物虐待、致死（不適切飼養も含む）の罰則を「虐待者および帮助者に5年以下の懲役、罰金500万円以下」に改正してください。こう改正すれば、「虐待者と帮助者に動物虐待は重罪であり、やってはいけない犯罪である」ということを示すことができます。

最後に、私たち日本国民は、引き続き人と動物の共生を推進し、日本基準で「世界に誇れる動物愛護の国である」ということを大至急に実現したいのです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。